

当総務委員会に付託された案件については、12月13日、午前9時30分から、全員協議会室において、委員全員出席のもと慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

初めに、議案第72号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

新庁舎建設基金積立金については、起債を約3億円に圧縮したということだが、庁舎の本体部分のみか、それとも外溝工事も含めた全体の起債なのか。とに対し、

これは、新庁舎の本体工事と外溝工事のすべてをあわせた全体事業費の起債額として3億6,560万円を見込んでいます。とのこと。

なぜ、年度末ではなく、この時期に基金へ積み立てるのか。とに対し、今回の補正予算では、歳入において、市民税で約6億3,000万円、固定資産税で2,700万円、地方交付税で約5億円の増収がありました。歳出側では財源を必要とする事業量が少なかったため、差し引きで生じた財源を今後必要となる事業の基金に積み立て、歳入歳出の均衡をはかりました。とのこと。

半田赤レンガ建物基金積立金 1億8,050万円の積算根拠は。とに対し、平成22年度から24年度までの3年間は、ハウジングセンターからの貸付料の収入7,000万円のうち、1,000万円だけを基金に積み立て、残る6,000万円については一般財源としていたため、その3年分の1億8,000万円と寄付金の50万円です。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第77号については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

入院・外来患者数が減少傾向にある中、診療単価などの上積みにより収益的に上昇している状況については、どのように捉えているか。とに対し、

患者数については、近隣市町の病院等においても減少傾向にあります。収益については、高度な医療を提供する割合が高まっていることから診療単価が上がっていると判断しており、良い状態であると捉えております。とのこと。

入院患者数が一日平均 410 人と減少している中で、これまでに入院患者が溢れたことがあるか。また、病床稼働率が下がっている原因は何か。とに対し、

入院患者が溢れたことはなく、実際には 80 パーセント程度の稼働率となっています。現状では、新規入院患者の減少割合は少なく、病床稼働率が下がっている要因として、急性期の治療を集中的に行い、入院日数が短くなることにより、空き病床ができているためと考えております。とのこと。

目標である 7 対 1 看護にするには、看護師が 60 人から 70 人不足している状況であったが、入院患者が減少傾向にある中で、7 対 1 看護のための看護師不足数はどのような状況か。とに対し、

7 対 1 看護については、昨年度まで平均 90 パーセント近い病床稼働率の中で、看護師 60 人程度が不足する状況でありましたが、80 パーセント前後の稼働率では、不足する看護師は約 30 人弱に減少してきている状況です。とのことでした。

その後、討論を省略し、挙手により採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第 79 号については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

4 月から消費税が増税される状況の中で、4 月 1 日から職員の給与を上げることにについて、市民の理解が得られるのか。とに対し、

人事院勧告の中で 55 歳を超える職員の昇給停止措置があり、同じタイミングで給与制度改革が必要と考えました。

これまで半田市は他市に先駆けて、総人件費の抑制や管理職ポストの削減を実施してきました。そのような状況の中、半田市の管理職の給与は、他市と比較して低い水準にあり、結果として、給与体系にひずみが生じてきました。当然のことながら、管理職は、給与に見合った仕事をし、市民の皆さまの厳しい目を受け止める必要があると考えております。とのこと。

若手職員にやる気を持たせることは給与の問題なのか。給与を上げる手段だけでいいのか。とに対し、

決して給与だけの問題ではなく、9級制の導入により、管理職ポストを魅力あるものにするとともに、研修を充実させることなどで若手職員のモチベーションを向上させます。とのこと。

今回の制度改正により、人件費はどれくらいの増額になるのか。とに対し、この制度は、平成31年度までの5年間をかけて、順に制度改正をするものです。制度完成時には、退職手当等は除き、人件費は約1,800万円、伸びると試算しております。とのこと。

今回の制度改正は、管理職に焦点をあてた給与体系の見直しにしか見えませんが、それでよいか。とに対し、

制度導入のきっかけは、55歳を超える職員の昇給停止という人事院勧告の措置を受け、9級制の導入と足伸ばし部分の廃止を行うことで、職員のやる気を引き出すことが目的です。9級制の導入だけをとらえると、その側面もあると思います。とのこと。

その後、討論を省略し、挙手により採決した結果、賛成少数をもって、原案は否決することに決定しました。

次に、議案第80号については、討論を省略し、挙手により採決した結果、賛成少数をもって、原案は否決することに決定しました。

次に、議案第82号については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

学校給食費について、据え置きとした理由は。とに対し、  
当初、消費税率引き上げの対象になっていましたが、知多半島内の状況調査及び学校給食運営協議会からの答申を受け、教育委員会として据え置きとの結論になりました。とのことでした。

その後、討論を省略し、挙手により採決した結果、賛成多数をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

また、12月19日 午後1時30分から、全員協議会室において、委員全員出席のもと慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

議案第90号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の後、慎重審査し、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

以上、ご報告申し上げます。